

令和2年度

第1回「あいパル」運営委員会報告

日時：令和2年10月20日（火）19:00~20:45

場所：上戸田地域交流センター「あいパル」多目的室

出席者：上戸田町会連合会 3名、本町商店会 1名、一般公募 2名、

サポーターズ倶楽部会員 3名、

戸田市4名（福祉総務課、協働推進課、生涯学習課 公民館担当、
生涯学習課 図書館担当）、

指定管理者「フレンドシップ上戸田共同事業体」 3名

以上 計16名

開会あいさつ

あいパルがオープンしてから5年と1ヶ月がたちました。これまでたくさんの方に利用していただき、昨年度は年間24万人の方にご来館いただきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大で状況が激変し、あいパルの特徴である「交流」や「オープンスペース」を控えることになり、今まで進めてきた方針とは真逆の状況になっています。このような難しい状況の中で、コロナウイルスと共存への努力、新しい生活様式に基づいてお知恵とご意見をいただきたいと思っています。この会は堅苦しくならず、ざっくばらんにご遠慮無くご意見いただきたい。本運営委員会は会則の通り、上戸田地域交流センターの利活用を促進し、地域活性に寄与することを目的にしています。つきましては、皆さまのいろいろなご意見・お考えを積極的に活かしていきたいと考えています。よろしくお願い致します。

<これまでの運営委員会のふり返し>

(1) 鍵の受け渡し

旧上戸田福祉センターは15分前に貸出を行っていたことから、あいパルでもそうしてほしいという要望があった。使用時間の前に利用が無く、部屋が空いていれば貸出は可能だが、利用が入っていることもあるので15分前の貸出は公平性が保てない。運営委員会の中で、小学生に時間を守るように言っているのに大人が守らないのはどうか、というご意見もあり、15分前の貸出は行わない、という方針となった。運営委員会で話し合ったことで、スムーズな運営へとつながられた。

(2) 小学生作品展

小学校との連携を模索している中で、夏休みなどに子どもたちが作成した成果物を普段飾られないところに飾ると、地域の方も子どもも保護者も喜ぶのではというご意見があったことから、あいパルのギャラリーを使って作品展を開催した。今年で4回目の開催となるが、毎回保護者以外の方も、地域の子どもの作品を熱心に見て、アンケートなどでメッセージをたくさん書いてくださっている。委員会をきっかけに、イベントにつながるアイデアが生まれ、それが広がった。

(3) 高齢者サロン

多世代交流スペースの机がいつも混んでいることを受け、実際に現場を見ていただき、柱とテーブルに高齢者優先の表示をつけた。また、新たに机1台と椅子4脚の購入にもつながった。

運営委員会で、あいパルの全てが決められるわけではないが、具体的な形になることも多々ある。思い付きでもいいので、どんどんご意見を聞かせていただきたい。

本日の議題：大規模イベントの開催について

あいパルでは、年に4回、1日2500人くらいの方が来場するイベントを開催していた。感染リスクを抑えたおまつりを3月に開催できればと思うが、どのような形ならばできそうなのか考えたい。まだそういったイベントの開催は早いのではないか、というご意見もあれば聞きたい。

<協議内容（大規模イベントについて）>

- ・8月のふるさとまつりは開催したい、という方向で動いているが、来場者・イベント内容の制限や期間の短縮も検討している。コロナは続くと思うので、その中でできることをやってほしい。
- ・町会では、盆踊りなどが中止になりイベントはまだできていない。コロナは冬の方が広まりそうなので、3月は時期的にも難しいかもしれない。
- ・コンパルでは毎年7月に開催する「コンパルまつり」や2月には講演会などのイベントを行っているが、今年度は中止とした。
- ・ショッピングモールでは、一方通行となるように導線を作っている。逆流できないようにすれば、密にはならないのではないかと。舞台発表などは、録画したものをスクリーンで上映するなど。
- ・ものづくりワークショップは30分入れ替え制で行った。参加者の反響は良かったが、ネット予約の周知が難しく、窓口での予約が多かった。
- ・公民館祭りは8月に中止となった。祭りの代わりに、普段の活動をHPに掲載できるよう動いている。あいパルの場合、2階回遊デッキをステージにして観客は1階のひろばから見ると面白いのでは。ガラスを有効活用できるとよい。
- ・普段活動をしている方にとってはフェスタを楽しみにやりがいにしている。でも現状は難しい。何が怖いかというと、周囲の目が怖い。実際に（フェスタを）行って、クラスター発生したらどうなるのか？と考えると怖い。でも、自粛が続き、家に引きこもっても気持ちが鬱になる。やったほうが良い、やめたほうが良いと言えは言えない。

- ・所属するサークルではフェスタで体験会を行っている。これまでのフェスタでは毎年100人くらい体験者がくる。やった方が良いけど、悩ましい。人数制限はできるが、体験の際にはマスクをはずさないといけない。展示物やダンスなどの発表の場が一切なくなるのもいかなものかと思う。展示をするならば一方通行型やパネルで区切って回遊するような展示にする。ダンス系は事前に撮影しておき、当日は大型スクリーンに映しながらMCだけが登場してサークルの説明を行うなど。動画ならWeb上に流すこともできる。
- ・楽しみは大事。絶対できないということではなく、人数制限して来人の把握ができれば少し安心するのでは。他のレジャー施設ではソーシャルディスタンスを徹底していた。
- ・正しく恐れることが大切。国のココアアプリや県のLINEコロナお知らせシステムなどイベント参加の方に登録してもらおう。スマホを使用しない高齢者の方はご家族が登録したり、そばに付き添ってもらおう。きちんと対策をとっています、というアピールも必要。そこまで徹底していますよということで安心感が増す。

<次回開催に向けて>

自粛で籠もっている人たちにも安心して楽しんでいただけるイベントとして、静かな、整然とした、美術館のようなおまつりとしたい。今日のみなさんのご意見を参考にさせていただきつつ、次回の運営委員会でもwithコロナの中でできることを考えていきたい。
また、2月に予定している防災 DAYS についても、協議します。

次回開催の日程

12月15日(火) 午後7時～

「あいパル」運営委員会は傍聴できます。